



▲利用が多い小学校のグラウンド

## 使用料の見直しは

答弁 = 現在見直しの作業中

現在の学校開放については、グラウンドへの土入れ、バレーボールの支柱、ネットなどの更新、管理指導員の経費などが必要な事から、使用料をいただいています。学校施設の使用料については、小中学生の場合、負担を軽減するため、半額に見直していますが、今年度、見直し作業中です。

### 答弁 清水町長

学校施設以外の利用については住民サービスが図られ喜ばしいことですが、学校施設利用は、他の施設と使用目的が異なります。小学校で放課後、地域の方々からスポーツの指導を受け、練習に励む事は中学校での部活動の基盤にもなり、教育委員会が取り組んでいる子どもの居場所づくりの一環としても考えられ、全額免除をします。



渡辺 文子

### 省エネの取り組みは

- ①ゴミ収集車7台を、食用油で走らすには後1万円が不足するが、各企業・学校給食などからも回収は行っているのか。
- ②町公用車において天然ガス自動車・エコカーの取り組み状況は。
- ③庁舎の紙資源の現状は。
- ④会議の資料を電子化する考えは。

### 答弁 柘田理事 更に進めたい

- ①廃棄物処理法により、住民以外は各排出事業者によって処理する事が義務付けられているが、学校給食の食用油については、バイオ燃料への再利用を促進するために、売却の検討を依頼している。
- ②現在、天然ガス車は採用していないが、今後検討したい。エコカーは、ハ

### 答弁 清水町長 さまざまな拠点と

施設の目的については、行政窓口サービス、展示、情報発信コーナー、商工会事務所、産業交流振興コーナー、警察官立寄所、図書検索・貸出・返却サービス、又、大中遺跡、県立考古博物館と連携した交流空間を目指している。

### 土山駅南地区の開発は

この事業において住民の福祉・産業の振興を果たしたいと説明されているが、その内容は。

- ③A4サイズの紙に換算して、年間約230万枚消費している。
- ④庁舎内のネットワーク化によって、電子化が進んでいる。また、会議資料においても今後さらに、電子化し減量化に努める。



▲高齢者が安心して老後を過ごせますように

## 後期高齢者医療制度は

答弁 = 運用は国保と同様に

来年4月から後期高齢者(75歳以上)は、国保や健保を脱退させられ、新しくできる後期高齢者だけの医療制度に組み入れられる。大きな違いは、保険料の「年金からの天引き」と扶養家族となっている健保加入者も含め、すべての高齢者から保険料を取り立てるひびい医療制度です。①健保の被扶養者数は。②滞納者から保険証の取り上げをしないように。③高齢者の意見集約を。④「広報はりま」で大きく取り上げるべきでは。

### 答弁 柘田理事

- ①対象となる被扶養者数は、約320人です。
- ②運用は国保と同様に行われるものと考ええる。
- ③意見集約は、パブリック



田中 久子

日本共産党代表

コメント募集を行った。県として任意に懇話会を設置し、幅広い意見を求める。④保険料決定後の来年1月号と3月号に掲載予定。「お知らせリーフレット」を用意し、広報11月号とともに全戸配布する。

### テルペン跡地は安全か

日本テルペン化学(株)土山工場跡地の土壌汚染処理が完了と報告された。昨年1月、神戸市内の日本テルペン工場跡地から有害物質が検出されて大問題になっている。土山工場跡地は本当に安全なのか心配。被害が発生した場合の苦情の対応と土地の安全の担保は。西踏切南の移転交渉の障害も、住民の土壌汚染に対する不安が関係しているのでは。

### 答弁 柘田理事 適切と証明されている

事業所から提出された報告書と、現地立会いにより適切に行われた。調査は全区画を実施し、分析を行う専門知識を持った技術者で、国家資格保持者の証明書が発行されており、疑う余地はない。

移転交渉の中では、土地の安全性について全員に説明している。

### 予防接種の補助を

子どもの命を大切に、健康に生きていくための予防接種の実施が必要。親子育て不安の支援策として満1歳から15歳までを対象にインフルエンザ予防接種費用の補助を求める。

### 答弁 柘田理事

予防接種の有効性について国が調査研究中なので、国の動向を見守りたい。また他市町の実施状況を見て検討したい。

### 国の動向を見守りたい